

# 【 議 事 録 】

会議名	第1回 子ども応援会議	
日時	令和3年11月5日（金）午後5時30分～午後6時50分	
会場	甲府市役所西庁舎1階 研修室	
議事	1. 子どもの育ちに関する意見交換 2. 子ども未来フォーラムについて 3. その他	資料 有■ 無□
出席者	<子ども応援委員> ・甲府ライオンズクラブ 望月様、梅田様 ・特定非営利活動法人にじいろのわ 土屋様、内藤様 ・ELK 柳澤様、守屋様 ・高校生ボランティア団体 LINK 平川様、高井様 <議事進行>窪田副市長 <オブザーバー>高野室長（福祉保健総室）、寺田課長（学校教育課） <事務局（子ども未来部）>奈良田部長、巽室長、一ノ瀬課長、花輪係長、中澤主任 <運営支援>特定非営利活動法人 bond place 芦澤、野口	
要旨	1. 子どもの育ちに関する意見交換について 「団体の強み」「団体の課題」「今後行ってみたいこと」等について、子ども応援委員より発表し、子どもの育ちに関する意見交換を行った。  ①団体A ○「団体の強み」 ・様々な分野の経営者が揃っていること。 ・全国に団体を有する大きな組織であること。 ○「団体の抱える課題」 ・規模の大きさ故に、決定までに時間を要すること。 ・子どもの育ちに関する専門的な知識やノウハウがないこと。 ○「今後行ってみたいこと」 ・いろいろな経験を子どもに提供することで、山梨の地域発展を担っていく人材づくりに貢献したい。  ②団体B ○「団体の強み」 ・県内における子ども食堂や地域食堂、学生ボランティア団体等とのネットワークを有していること。 ・現場を大事にし、食の提供を通じて、子どもや親とのコミュニケーションを図り、そこから得られるニーズや困りごとをアセスメントし、フィードバックしているこ	

と。

- 「団体の抱える課題」
  - ・資金の確保
- 「今後行ってみたいこと」
  - ・食の提供のみならず、他の分野での子どもたちへの機会の提供
  - ・学習支援をしたいという若者たちの活動サポート

③団体C

- 「団体の強み」
  - ・アウトドア体験を企画し、実行できること。
- 「団体の抱える課題」
  - ・資金の確保
- 「今後行ってみたいこと」
  - ・子どもたちに選択肢の幅を増やせる機会の提供

④団体D

- 「団体の強み」
  - ・子どもと年齢が近く、信頼関係が築きやすいこと。
  - ・SNSを活用した活動の展開
- 「団体の抱える課題」
  - ・小人数かつ類似したイベントしか出来ない。
  - ・活動場所の確保
- 「今後行ってみたいこと」
  - ・他の団体と連携した大きなイベントの実施

⑤オブザーバーA

福祉関連では、民生児童委員の協力を得る中で、地域の子どもたちを取り巻く環境やどういった傾向があるかなどの現状について、子ども応援会議で共有していきたい。

また、子ども応援委員等の活動について、民生児童委員に情報をつなげ、活動と子どもたちへのマッチングを図っていきたい。

⑥オブザーバーB

教育関連では、子どもを取り巻く環境は多様化（貧困・いじめ・ヤングケアラーなど）しており、学校だけでの問題解決は難しい状況である。

その中で、「子どもの居場所づくり」は子どもの心の成長からも大切と考えており、それに携わる団体と情報交換するなどして連携を図っていきたい。

	<p>2. 子ども未来フォーラムについて</p> <p>事務局より、来年2月に開催予定の「子ども未来フォーラム」について、企画案を説明し、子ども応援委員から意見を伺った。</p> <p><b>【子ども応援委員からの意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが自分の夢を語ることをサポート出来る機会にしたい。</li> <li>・子どもたちに何か新しい体験を提供したい。そのためには人材の派遣も可能</li> <li>・他団体と連携して、子どもたちにアウトドア体験を行いたい。</li> <li>・「心のバランス」と「体のバランス」は相関するので、子どもたちの「体のバランス」を整えることの出来る体験を提供したい。</li> </ul> <p>3. その他</p> <p>特になし。</p>
会議の結果	<p>「子どもたちが様々な体験を得られる機会を提供し、選択肢を広げたい」といった共通の価値観を見出すことが出来た。</p>
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども未来フォーラムの実施に向け、詳細部分も含めた意見交換</li> <li>・子ども応援委員同士の連携を創出していくための活動の推進</li> </ul>